



一匹でも多くのサケが帰ってくるのを願って

元気に 帰ってきてね

横芝小・大総小・上堺小「サケの放流」

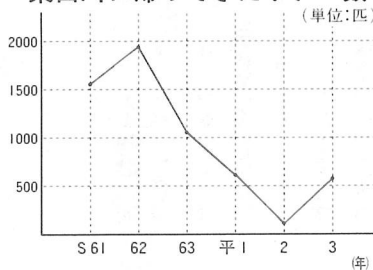
「元気に帰ってきてね」と願いをこめて、横芝小・大総小そして光町東陽小学校の子どもたちに

よって3月23日、サケの稚魚が栗山川に放流されました。今回放流したサケは、北海道産の100万匹と、1月中旬に子どもたちが学校（横芝小・大総小）でふ化させた2千匹です。約2か月間、大切に育ててきた



私たちのこと忘れないでね(上堺小学校)

栗山川に帰ってきたサケの数



サケを一人ひとりの手によって放流した子どもたちは、「無事に帰ってくるのを待っているからね」と、語りかけながら放流しました。また、上堺小学校の子どもたちも3月19日、木戸橋から栗山川にふ化したサケの稚魚千匹を放流しました。

文芸

栗山川に帰ってきたサケの数は、昨年704匹で、1昨年の209匹に比べて増えています。サケたちが4年後、ふるさとの川「栗山川」に無事に戻ってこられるよう、みんなの手で栗山川をきれいにしましょう。

俳句

- うららかに網繕うて浜日和 山口 一秋
- 足裏を引く感触や春の海 鈴木 南知
- 女盛りパジャマに包み春の風邪 宮内 澄男
- 握り飯頬張っている花の下 鈴木 草庵
- 麗らかや派手なマフラーよく似合う 海保 きみ
- 柳条をくぐり闊歩や異国人 戸村 静華
- 大安を選びて種粃浸しけり 若梅あやめ
- 花の下水耕みつば育ちけり 藤代 ゆう
- 涅槃西風棒となりくる駅ホーム 勝又 和徳
- 橋三つ潜りて緩き春の川 (選者) 土屋 栗水

短歌

- 池の面を渡る風あり汀より少しはなれて波ふくれゆく 永藤 磁
- テニスボール壁に打ちつぐ音響く新入部員等はげみるらし 土屋 五六
- 草や木の芽吹き音のありなしをききて歩めり休日けふは 武田 立子
- 何気なき仕草もいつか大人びて息は十二歳の誕生日迎ふ 斎藤 佳子
- 早起きの孫は着替へを待ちきれず玄関を指し靴を指さす 佐瀬 初音
- コンクリーの間より小さく伸びあがり紫の花風にゆれるつ 中越美代子
- 厭ひたる母の性格の一部分肯ひるたり四十路の今は 大場 和可
- 浜風に久しく耐へ来し松ならむ丈低くして枝の曲れり 津田 若菜
- 桶のさけびにも似し音をたて電動ノコは幹にくひこむ 八角 三枝
- 刻みゆく電子レンジの秒の表示われに残れる命思へり (選者) 斎藤つね子